



# 美しい 県土づくりNEWS

2014年  
11月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第124号  
平成26年11月28日発行  
編集 県土整備企画室



## 三陸復興

### 冬本番へ準備着々

～冬道の安全で安心な交通を確保するための準備が進んでいます～

本格的な冬の到来を前に11月13日に宮古市内で地域の除雪車並びにボランティア除雪隊の出動式を国・県・市の合同で開催しました。出動式では、除雪従事者への激励として、宮古市立佐原保育所の園児から除雪車の鍵が手渡され、園児の元気な号令により除雪車が出動しました。

これから冬本番を迎えます。早めの冬タイヤ交換やスコップの携行など冬道への備えをお願いします。



除雪機械出動式の様子



園児から鍵の手渡し



園児の号令により除雪車が出動

# 除雪作業に御協力お願いします



県では、冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するため、  
県が管理している道路の除雪作業を行っています。  
作業をスムーズに行えるよう、皆さまの御協力をお願いいたします。

## 門口除雪に御協力を

各商店・各家庭から道路へ出る門口に寄せられた雪の除雪については、各家庭・御近所等で御協力をお願いいたします。

## 道路への雪出しはやめましょう

道路への雪出しは、**路面凍結**の原因となるほか、路面が凸凹になり非常に危険で、**交通事故**や**渋滞**の原因にもなります。

## 路上駐車はやめましょう

路上駐車は、**除雪作業の妨げ**となります。また、**車の乗り入れ板**や**看板等**も障害物となり、危険です。



## 深夜・早朝作業に御理解を

除雪作業は、朝の通勤・通学に間に合うよう、主に交通量の少ない夜間や早朝に行います。作業中は騒音・振動等で御迷惑をおかけしますが、御理解くださるようお願いいたします。

## 除雪車に注意!!

- 除雪作業は安全第一で行っていますが、**作業中の除雪車は大変危険**です。近づかないでください。
- 除雪車は場合によって、道路のセンターラインを越えて作業をすることがあります。車等で走行する際も御注意ください。

## 路面凍結に注意!!

- 路面凍結により通行に支障がある場合又は支障になると予想される場合に、凍結抑制剤を散布していますが、**気象条件等により路面が凍結している場合がありますので、通行の際は、十分に注意してください。**

### <お問い合わせ先>

県庁県土整備部道路環境課 019-629-5880  
または最寄りの広域振興局土木部、土木センターまで

岩手県道路情報提供サービス

ホームページ

URL : <http://www.douro.com/>

# 市道北部環状線（仮称）宮古トンネルが貫通しました

～ 市道北部環状線の整備が進んでいます ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成 26 年 11 月 13 日、**宮古市道北部環状線**において（仮称）**宮古トンネル**の貫通式が行われました。貫通式には県、宮古市、地元自治会、工事関係者等約 70 名が出席し、模擬発破による貫通の儀、通り初めの儀、鏡開きを行い、出席者で無事貫通したことを祝いました。

市道北部環状線は、震災後の平成 23 年度から岩手県が代行事業として、宮古市山口地区から佐原地区までの約 2.3km の整備をすすめており、平成 28 年度の開通を目指し改良工事や橋梁工事、トンネル工事を行っています。

（仮称）宮古トンネルは延長 318m であり、平成 26 年 1 月からトンネル掘削を開始しました。市街地や住宅地に近い箇所での掘削のため、発破時の騒音や振動に配慮し深夜の作業を行うことができない等施工条件に制約がありましたが、無事故・無災害で貫通することができました。引き続きトンネル内部をコンクリートで覆う工事や排水設備の工事等を行いトンネルの完成を目指していきます。



### 【市道北部環状線の事業概要】

市道北部環状線（宮古市山口地区～佐原地区）は宮古市街地から国道45号や県立宮古病院へのアクセス向上、市内の渋滞緩和、災害時における円滑な救援活動や物資輸送を目的に平成23年度から岩手県が代行事業として整備を進めています。

平成28年度の開通に向けて、現在はトンネル築造工事・橋梁工事及び道路改良工事を行っています。

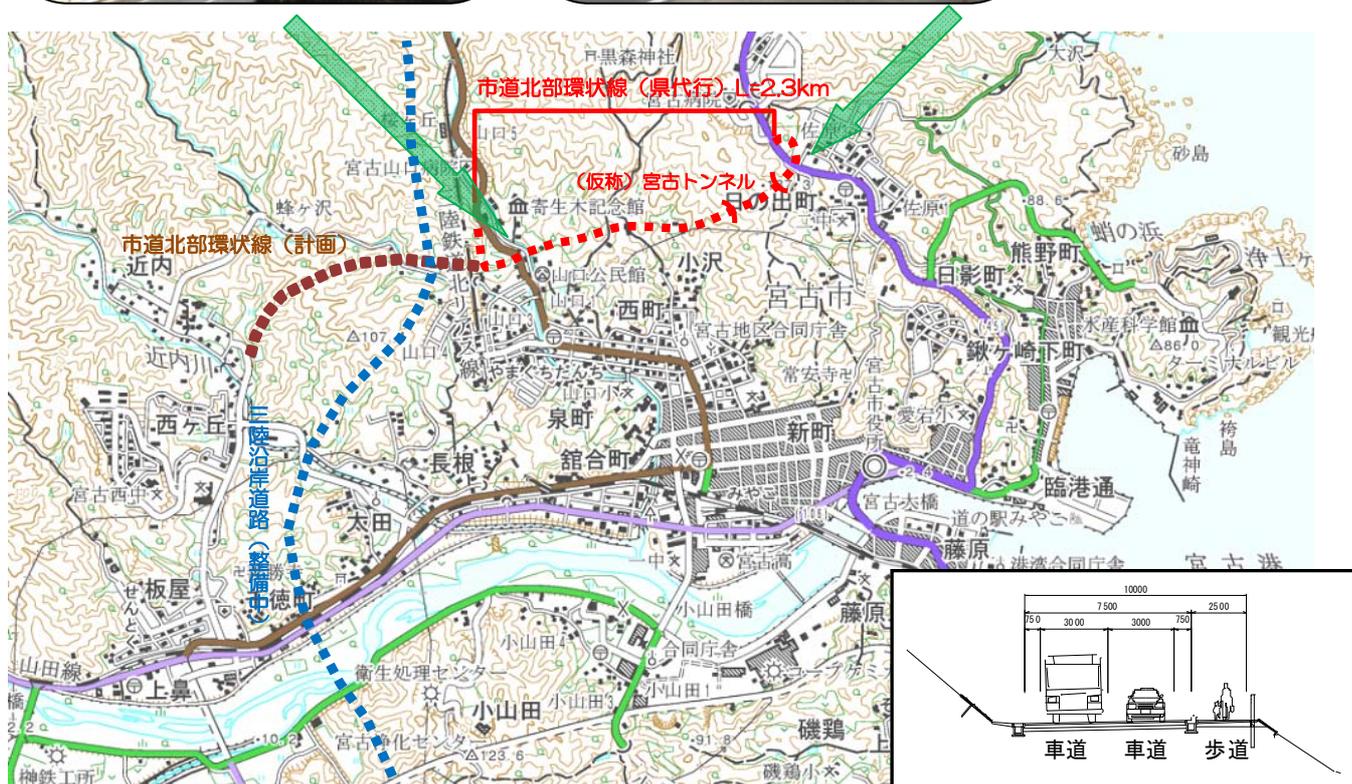
山口地区の橋梁



佐原地区の橋梁



国道45号上のため夜間に架設



(仮称) 宮古トンネル 起点側坑口



(仮称) 宮古トンネル 掘削作業状況



# 田代川水門災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年11月20日、宮古市田老の川向地区において、田代川水門災害復旧工事本格着手前の安全祈願祭を開催しました。

安全祈願祭は、二級河川田代川筋川向地区河川災害復旧(23災661号)水門土木工事の施工者である飛鳥建設(株)・(株)ピーエス三菱・小野新建設(株)特定共同企業体が主催し、宮古市及び関係機関をはじめ、工事関係者など約40名が出席して行われました。

式は神事次第に則り、工事の安全と無事故・無災害での早期完成を祈願して取り行われました。

安全祈願祭に当たり発注者を代表し、沿岸広域振興局の桐田教男副局長が、関係者の皆様への感謝と一日も早い復旧・復興の推進に向けて、一体となって取り組んでいきたい旨を述べ挨拶としました。

## 位置図



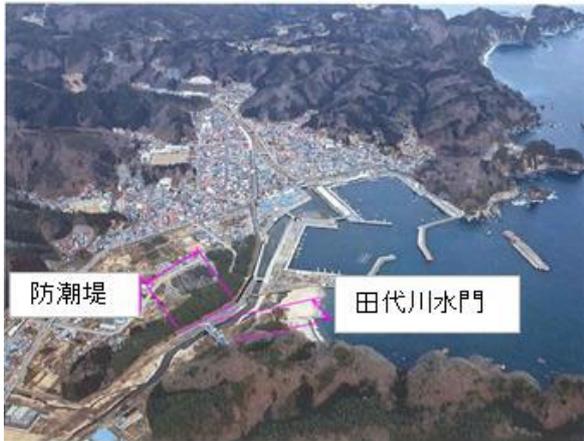
## 安全祈願祭の様子



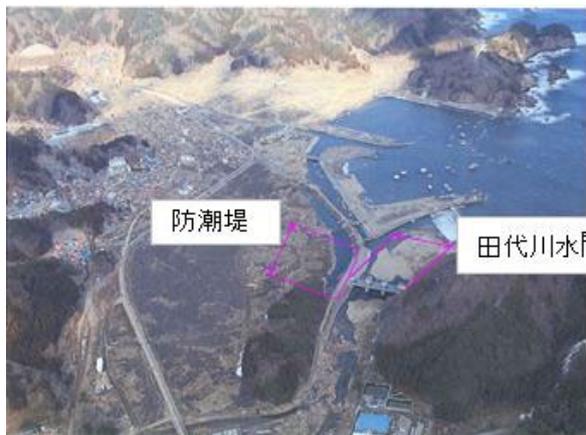
## 宮古市田老地区の概要

宮古市田老地区は、国道 45 号や三陸鉄道北リアス線が通り、貴重な平地部を有していることから、住宅地や漁業・商業施設用地として活用されている地域でしたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波により、既設の防潮堤 (T.P.+10.0m) をはるかに越える高さ約 17.3m の津波に襲われ、甚大な被害を受けました。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



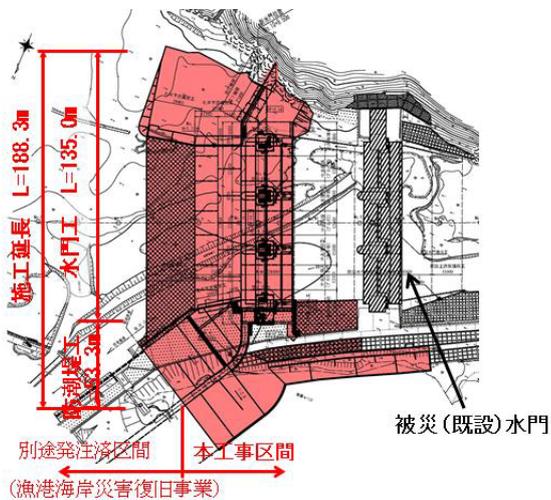
被災前 (平成 22 年 3 月)



被災後 (平成 23 年 3 月)

## 災害復旧工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果を踏まえ、新たな水門の計画高さを田老漁港海岸防潮堤 (一線堤) と同一の T.P.+14.7m で復旧することとしました。これらの災害復旧工事は、平成 28 年度末の完成を目指し、鋭意取り組んでいきます。



施工平面図



田代川水門完成予想図

# 「東日本大震災復旧・復興工事 合同安全衛生パトロール」を実施！

建設技術振興課

東日本大震災津波の復旧・復興工事が本格化する中、工事現場における労働災害が増加していることを受け、11月12日（水）に岩手労働局・建設労働災害防止協会岩手県支部と合同で、釜石市内の港湾災害復旧工事と海岸災害復旧工事の安全衛生パトロールを実施しました。

三者による合同パトロールは初めての取り組みです。



死亡労働災害は、墜落転落によるケースが上位を占めることから、今回のパトロールでは、足場の周囲に転落防止ネットが張られているか、安全ベルトを固定するロープが設置されているかなどの点を重点的に確認しました。

なお、県土整備部所管工事では平成25年度に1件の死亡事故が発生しています。

【平成25年 死亡労働災害発生状況（岩手労働局管内）】

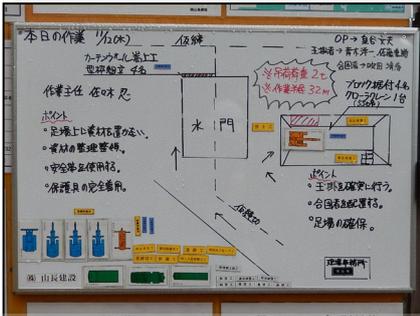
業種別	<b>建設業4人</b> 林業3人 商業3人 運輸業2人 製造業1人 鉱業1人 左記以外5人	合計 19人
監督署管内別	一関5人 二戸5人 盛岡3人 花巻2人 宮古2人 釜石1人 大船渡1人	
事故の原因別	<b>墜落転落5人</b> 交通事故4人 激突され3人 飛来落下2人 はさまれ巻き込まれ2人 転倒1人 破裂1人 崩壊倒壊0人 切れこすれ0人 おぼれ0人 激突0人 感電0人 高温の物との接触0人 その他1人	

両現場とも、労働災害防止に積極的に取り組んでおり、墜落転落防止の措置が図られていました。パトロール実施後、三者から講評が行われ、佐藤県土整備部長からは「必要な安全管理が行われている。一日も早い復旧復興に取り組んでいるところであるが、現場の安全の確保が最優先であり、引き続き安全に配慮してほしい」との発言がありました。

【取組み事例】絵や図を使った分かりやすい表示、細部への気配りなど工夫が凝らされていました。



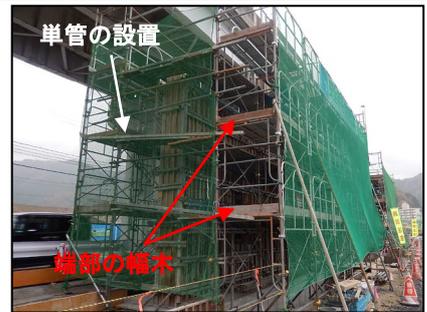
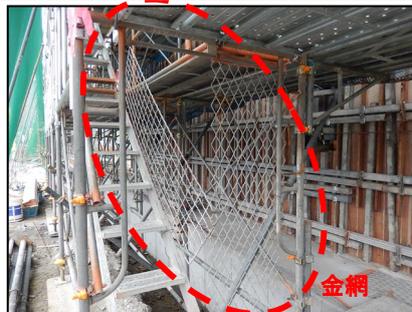
作業員直筆の『安全決意宣言』。目に付くところに張り出しています。



- (左) 掲示板にホワイトボードを設置し、朝礼時に「本日の作業」を周知する際、安全のポイントもあわせて説明しています。
- (中) 足場階段と地面の間に、有り材でもう一段階段を追加し、つまずきを防止しています。
- (右) 足場階段頭上手すりに、トラテープを巻き、注意喚起をしています。

☆あなたの現場はどうですか？ 安全施工のためのアドバイス☆

釜石労働基準監督署の川上署長から、今回パトロールした現場で実施していた参考になる取組みについてアドバイスいただきましたので、現場に行く際に参考にしてください！



- (左・中) 落下防止のため、ネットや現場の有り材で足場横や階段横の開口部を塞いでいます。足場板での対応が難しい箇所の事例として、参考になります。
- (右) 端部にも幅木が設置されています。幅木の設置が難しい箇所は単管などで対応することも可能です。



- (左) 道路路肩からの車両の転落を防止するため、路肩に盛土をしています。H=0.3m W=0.5m程度が望ましいですが、現場状況に応じて調整してください。
- (右) 作業を行わない所は、立入禁止措置を取ることも、安全対策の1つの方法です。

# 「古くなった橋や直した橋の見学会」を開催しました

～ 岩手県道路メンテナンス会議 ～

道路環境課

道路インフラの予防保全、老朽化対策の取組みに対する体制強化を図るため、国、県、市町村などの岩手県内の道路管理者が集まり本年5月に設立した「岩手県道路メンテナンス会議」では、一般の方々を対象とした橋梁の老朽化対策に関する現地見学会を10月25日（土）に開催しました。

見学会には、盛岡市を始め、花巻市や岩泉町から男性、女性、親子連れ、大学生など合計18名の方々が参加し、老朽化により補修が必要となっている橋梁の現状と、補修後の橋梁を見学しました。

## 1. 古くなった橋の現場（盛岡市道：浅岸橋）

中津川に架かる盛岡市道の浅岸橋では、橋の劣化状況を確認してもらうために、参加者にハンマーを使った打音による橋梁点検を体験してもらいました。



「コンコン、ポコポコ」音の違い解るかな？



専門家から点検方法の説明を受ける参加者

## 2. 直した橋の現場（国道4号：北山跨線橋）

補修工事が完了した国道4号の北山跨線橋では、国土交通省の担当者から補修の方法などについて説明を受けました。



～参加者の方からは、以下のような意見をいただきました。～

- なかなか見ることができないところを見せてもらえて、ためになった。
- 見学会等によりインフラの現状を周知することは重要だと思う。
- 古い橋の事例と補修における対比が解りやすかった。

★今後も、このような見学会などを通じて、道路インフラの現状と補修工事などへの理解を深めてもらいながら、道路施設の適切な維持管理に努めてまいります。

## 平成 27 年度政府予算に係る提言・要望活動を行いました

県土整備企画室

平成 26 年 11 月 26 日に、平成 27 年度政府予算に係る提言・要望活動を実施しました。今回の要望では、平成 27 年度政府予算編成に向け、引き続き東日本大震災津波からの復興の加速化に全力で取り組むとともに、県民の安全・安心の確保のための社会資本整備等に取り組むよう、**達増知事から竹下亘復興大臣、佐々木基国土交通審議官に対して提言・要望**を行いました。

県では、被災地における復旧・復興を強力に推進するため、引き続き、国に働きかけていきます。

### 【主な要望内容】

#### 1 東日本大震災津波からの本格復興にあたっての提言・要望（震災分）

- 復旧・復興のための財政支援の継続と財源の確保等
- 社会資本整備総合交付金（復興）の復興の進度に応じた予算措置及び全面的な財政支援等
- 直轄事業の着実な推進と全面的な財政支援
- 国営追悼・祈念施設（仮称）及び高田松原津波復興祈念公園整備事業の事業化と一般国道 45 号「道の駅高田松原」の再整備に向けた支援等
- 津波対策に対する恒久的で安定した財政支援の確立

#### 2 東日本大震災津波関連以外の提言・要望

- 土砂災害対策を推進するための財政支援及び予算の確保
- 一般国道 106 号の指定区間編入



竹下亘復興大臣への要望状況



佐々木基国土交通審議官への要望状況